2024年度 FD Session

主体的な学びを導く Problem Based Learning

伊藤先生からのメッセージ

Problem Based Learning（PBL）二つの源流があります。

ひとつは1960年代に北米の医学教育で専門の高度化・細分化への対応として、一定の文脈に即して有意味的に知識を獲得・再構成して応用する力の育成を目的とするもの、もう一つは1970年代に北欧で始まり、学問的たこつぼ化から脱却し、社会的文脈を重視すべき技術や社会開発などに不可欠な能力と学際的視点を育成する学習方法として、の二つです。

その後、学校教育においては、教授戦略または統合的学びを促進するカリキュラム設計のいずれかへの利用が多くなり、近年では、特に学習者個々の問いに基づく主体的な学びを促す学習法としての教育効果に注目されるようになってきています。

講演では、Project Based Learningとして認識されているPBLとの違いなども含めて、導入目的に応じた「PBL」の多様性と、具体的実践例について紹介したいと考えています。



伊藤　通子 氏

東京都市大学
教育開発機構 副機構長

2025. 2.18 火

13:30～

Zoom 開催

※ミーティングURL等は改めて
マナビー【FD関連info.(2024年度)】にてお知らせいたします。

主催：同志社女子大学 教務部 教育開発支援センター